

平成22年4月30日

## プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2011年4月30日】

団体名 栄町猫対策委員会

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. プロジェクト名

多摩横断・連携ねこネット

### 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

この活動を開始した背景には、「飼い主のいない猫」の餌やりについてトラブルが発生し、その数も数十匹に上り、近隣では排泄物に関する被害もあり、先ず不妊・去勢の実施が先決と考え委員会を発足しました。また、この問題は、感情的な対立を招き、餌やりさんと近隣の関係を悪化させるケースも少なくないと思われます。このため、立川市を中心に「飼い主のいない猫」を対象とし、捕獲、不妊・去勢などを主眼とし、その増加を抑制し、被害やトラブルの緩和・軽減を目的とする活動を展開します。

### 3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

内容については、「飼い主のいない猫」の捕獲、不妊・去勢活動によりその増加を抑制、トラブルの緩和・軽減を主眼とします。この活動に付随して、仔猫の遺棄などが発生した場合、保護・治療・検査、飼い主探しも実施、広報活動により、「地域猫」活動の理解の促進を図り、また、資金的に活動の継続や進展が難しいと思われる、団体や個人に助成金を充てる事により「地域猫」活動の浸透・促進を支援します。また、極力、現場の方々に捕獲などをお願いする事で、身近な活動の意識・認識付けを図ります。

### 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

捕獲、不妊去勢については、なるべく餌やりの方々や関係者に、実行や資金的なご負担をお願いしました。実施規模により、経費の負担が難しい場合には、助成金を活用する事で、より不妊・去勢活動が拡張、猫の治療に助成金を充てる事で、以前にも増して大切に飼育する、仔猫の怪我の治療後飼い主さんがみつかると、多くの効果や成果をみました。更に、発情期の被害の軽減、「飼い主のいない猫」の減少、地域での理解が進むなどの効果もあり、また、立川市との共催で「地域猫」活動を推進するセミナーの開催も実現しました。

### 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

この活動を進めるにあたり、特に治療などについては、自己負担で余儀なくする場合があります。

この事について、使途については細かな制限がなかったため、治療にも助成金を充てる事ができ、充実した活動ができました。

但し、他市との協働での活動については、市内の個人などがメインとなり、助成金の一部を提供するに留まりました。

### 6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし